

2020年9月15日

各位

会社名 株式会社小僧寿し  
代表者名 代表取締役社長 小林 剛  
(JASDAQコード: 9973)  
問合せ先 経営企画部室長 毛利 謙久  
(TEL. 03-4586-1122)

(再訂正)「第三者割当により発行される第10回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行及び新株予約権の第三者割当契約の締結に関するお知らせ」の一部訂正につきまして

2020年8月14日付「第三者割当により発行される第10回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行及び新株予約権の第三者割当契約の締結に関するお知らせ」の訂正として、2020年8月20日付「(訂正)「第三者割当により発行される第10回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行及び新株予約権の第三者割当契約の締結に関するお知らせ」の一部訂正につきまして」に、一部訂正すべき事項がありましたので、ここにお詫びを申し上げますとともに、下記のとおり訂正のご連絡をさせていただきます。なお、訂正箇所には、下線を表示しております。

#### 1. 訂正箇所

8ページ 2. 募集の目的及び理由

2. 訂正内容(訂正箇所には下線を付しております。)

8ページ 2. 募集の目的及び理由

(訂正前)

#### ② 複合型宅配事業店舗の新規出店費用

当社は、2018年5月に発行した転換社債の調達資金395百万円について、複合型宅配事業店舗の出店費用として充当しておりました。

<略>

当社は中期経営計画において、2020年12月期 売上高6,946百万円、営業利益36百万円、経常利益56百万円、純利益26百万円の創出、2021年12月期 売上高8,872百万円、営業利益183百万円、経常利益203百万円、純利益126百万円の創出、2022年12月期 売上高11,774百万円、営業利益433百万円、経常利益453百万円、純利益281百万円の創出を予定しております。2020年12月期第1四半期累計期間においては、売上高1,308百万円、営業利益△3百万円、経常利益5百万円、純利益3百万円となっており、2020年12月期の計画に対して予定通りの推移を示しております。一方、中期経営計画の骨子である、新規業態の出店として、デリズ店舗を年間20店舗出店していくことを企図しております。2020年度においては、2020年8月以降に10店舗の直営店出店、及び10店舗超のFC加盟店出店を計画値として定めており、2021年12月期、2022年12月期においても、年間20店舗のデリズ新規出店を計画しております。当該新規出店実行の成否が、中期経営計画達成の骨子となっており、当該計画に沿った新規出店を実施するために、2021年4月以降の更なる新規出店費用を必要としておりますので、第10回新株予約権の発行による資金調達(以下:本資金調達)の実施することと致しました。

(訂正後)

② 複合型宅配事業店舗の新規出店費用

当社は、2018年5月に発行した転換社債の調達資金395百万円について、複合型宅配事業店舗の出店費用として充当しておりました。

<略>

当社は中期経営計画において、2020年12月期 売上高6,946百万円、営業利益36百万円、経常利益56百万円、純利益26百万円の創出、2021年12月期 売上高8,872百万円、営業利益183百万円、経常利益203百万円、純利益126百万円の創出、2022年12月期 売上高11,774百万円、営業利益433百万円、経常利益453百万円、純利益281百万円の創出を予定しております。2020年12月期第1四半期累計期間においては、売上高1,308百万円、営業利益△3百万円、経常利益5百万円、純利益3百万円となっており、2020年12月期の計画に対して予定通りの推移を示しております。一方、中期経営計画の骨子である、新規業態の出店として、デリズ店舗を年間20店舗出店していくことを企図しております。2020年度においては、2020年8月以降に9店舗の直営店出店、及び10店舗超のFC加盟店出店を計画値として定めており、2021年12月期、2022年12月期においても、年間20店舗のデリズ新規出店を計画しております。当該新規出店実行の成否が、中期経営計画達成の骨子となっており、当該計画に沿った新規出店を実施するために、2021年4月以降の更なる新規出店費用を必要としておりますので、第10回新株予約権の発行による資金調達（以下：本資金調達）の実施することと致しました。

以 上